平成三十年度推薦入試　入学試験問題

小論文（人文）

人文社会科学部　人間文化学科

注意事項

① 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
② 問題冊子は、八ページ（表紙、白紙を除く）です。試験開始後、確認しなさい。
③ 解答用紙には（その一）と（その二）があります。解答はそれぞれの解答用紙の指定の欄に縦書で記入しなさい。
④ 受験番号は、それぞれの解答用紙の指定の欄に算用数字で横書しなさい。
⑤ **問題一**、**問題二**のいずれにも解答しなさい。
⑥ 試験時間が終了したら、解答用紙の受験番号の書いてある面を上にして、（その一）を（その二）の上に重ねて監督員の回収を待ちなさい。

問題一　次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

この部分については，著作権の処理が未完了のため，公開できません。

この部分については，著作権の処理が未完了のため，公開できません。

この部分については，
著作権の処理が未完了のため，
公開できません。

（森本哲郎『そして――ぼくは迷宮へ行った。』角川書店による）

問一　□　ⓐ～ⓔの片仮名を漢字に直しなさい。

問二　傍線部A「人間は世界を迷宮に仕立てることができ、人生を迷路に変えることができるのだ」とあるが、これはどのような意味か、わかりやすく説明しなさい。（八〇字以内）

問三　傍線部B「こうして、世界は迷宮になり、人生は迷路となる。不安と安堵との入りまじった、そして、こわいもの見たさの

誘惑にみちみちた美しい迷宮に」とあるが、これについてどう思うか、あなたの考えを述べなさい。（二〇〇字以内）

問題二　次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

この部分については，著作権の処理が未完了のため，公開できません。

この部分については，著作権の処理が未完了のため，公開できません。

この部分については，
著作権の処理が未完了のため，
公開できません。

（片倉もとこ『イスラームの世界観――「移動文化」を考える』岩波書店による）

（注一）「みんぱく」　国立民族学博物館のこと。

（注二）「うごく」　勤務先が変わること。

問一　傍線部「異質さの魅力」とはどういうことか、筆者の体験に即してわかりやすく説明しなさい。（八〇字以内）